

主 な 取 組	人権の啓発						担当課	自己評価
							学校教育課	A
取 組 状 況	人権の啓発、人権教育の推進。							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	①時代にあった人権教育・啓発活動への取組 ②指導者の人材確保と参加者の促進							
令 和 4 年 度 実 績	事業を継続し、内容の充実を図った。							
指 標 及 び 説 明	【指標】 人権作文への取り組み率				【説明】 人権作文に取り組んでいる学校数により、人権啓発活動の充実度を判断します。			
	単 位	現 状 値	実 績 値				目 標 値	
指 標 の 推 移	%	R 1 平 時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平 時
		100	平 時					100
		R 2 有 事	100					R 8 有 事
		100						—
自 己 評 価 の 主 な 理 由	事業内容を計画通り実施することができた。							
課 題 及 び 改 善 点	事業を継続し、内容の充実を図る。							

※ 「平時」「有事」とは

本点検・評価報告書における平時とは、with コロナで、様々な制約を受けながらも、日常生活を取り戻しつつある状態を想定しています。有事とは、新型コロナウイルス感染症の拡大により緊急事態宣言が発出され、施設を休館する等、通常の事業ができない非常事態を想定しています。現状値の令和元年度は、年度末にコロナの影響を受けましたが平時とし、令和2年度を有事としています。平時における令和8年度の目標値は、令和8年度まで平時が続いた場合を想定し、有事における令和8年度の目標値は、令和8年度まで有事が続いた場合を想定しています。

また、有事においても、目標値に影響が無い場合は、「—」としています。令和3年度以降に、新規に開始した事業等で、令和2年度以前の現状値を示せない場合は、指標に「新規」と表記し、現状値を「—」としています。

【施策の体系】 1 人権教育

【政策】 第1項 人権の尊重と権利の擁護

【施策】 (1) 人権施策の推進

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 1 1

主な取組	人権教育の推進						担当課	自己評価
							社会教育課	B
取組状況	人権問題に関する講演会や講座を通して、広く市民に人権感覚を養い、問題解決のための学習機会を提供している。5 公民館で人権啓発講座を、3 公民館で夏休み人権映画会を開催した。人権教育推進事業として、小中学校PTAが実施している家庭教育学級のテーマに、人権問題を取り上げた。また、学校・PTA・公民館が今年度の人権教育の取り組み事例報告書を作成した。							
前年度の課題・改善点	様々な人権課題への学習機会が継続的に提供できるよう、取り上げるテーマ、開催形態について柔軟な対応をとることが必要である。							
令和4年度実績	夏休み人権映画会 3回実施 延べ26人 人権啓発講座 5回実施 延べ107人 人権問題講演会 196人参加 PTA家庭教育学級 2PTA 延べ66人							
指標及び説明	【指標】人権問題に関する講演会、講習会の参加者数				【指標】人権問題に関する講演会、講習会の参加者数			
指標の推移	単位	現状値	実績値					目標値
	人	R1平時	R4	R5	R6	R7	R8	R8平時
		726	平時					800
		R2有事	395					R8有事
	315						400	
自己評価の主な理由	当初に計画していた事業に加え、新規事業として夏休み人権映画会を開催し、参加者から好評を博した。事業には多様な年代の方が参加され、広く市民の人権感覚を養うことができた。							
課題及び改善点	人権問題に関心が低い方や人権に難しいイメージを持つ方に対する、人権教育のアプローチや事業の周知方法について課題が残る。							

【施策の体系】 1 人権教育

【政策】 第1項 人権の尊重と権利の擁護

施策	(1) 人権施策の推進			
施策評価	主な取組	担当課	自己評価	総合評価
	人権の啓発	学校教育課	A	B
	人権教育の推進	社会教育課	B	
学識経験者等意見	<p>全体的に施策、事業の達成度、進捗が順調であると拝見しました。人権は、すべての人が生まれながらにして持っている基本的で普遍的な権利です。入間市では、差別のない、市民一人ひとりがお互いの人権を尊重する社会を目指し、人権教育に関する学習機会の充実に取り組まれていると自己評価より認識致しました。</p> <p>「人権の啓発」につきましては、入間市内の小・中学校を対象とした人権標語、人権作文への積極的な応募・出品は評価されます。この取り組みにより児童生徒は人権を守るために個人や集団としての責任を持つことを学び、社会的な変革や改善に積極的に関与する機会を保障できると考えます。その一方で、現在国会では「性的指向および性同一性に関する国民の理解増進に関する法律」の法制化が進められております。性的マイノリティ等の現代的な課題に応えながら、丁寧に事業の継続をするようお願い致します。</p> <p>「人権教育の推進」につきましては、新たな試みとして夏休み人権映画会を開催し、参加者から好評を博したとのことで一定の評価がされます。現代の社会は多様性に満ちており、人権教育は異なるバックグラウンドや文化的な背景を持つ生徒たちに対応する必要があります。そのため、このような学校教育のみならず市民に向けた講演会、研修会の実施は有効であると考えます。引き続き事業を丁寧に進めていただきたいと思います。</p>			

【施策の体系】 1 人権教育

【政策】 第1項 人権の尊重と権利の擁護

【施策】 (2) 平和施策の推進

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 1 1

主 な 取 組	平和意識の高揚						担当課	自己評価
							学校教育課	A
取 組 状 況	「平和を願う講演会」の開催。							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	事業を継続し、内容の充実を図る。							
令 和 4 年 度 実 績	市内全中学校 (11 校) で「平和を願う講演会」を実施							
指 標 及 び 説 明	【指標】 平和に関する講演会の実施				【説明】「平和を願う講演会」の学校の実施率により、平和意識の高揚度を判断します。			
	単 位	現 状 値	実 績 値				目 標 値	
指 標 の 推 移	%	R 1 平 時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平 時
		100	平 時					100
		R 2 有 事	100					R 8 有 事
		0						—
自 己 評 価 の 主 な 理 由	計画通り、実施できた。							
課 題 及 び 改 善 点	事業を継続し、内容の充実を図る。							

【施策の体系】 1 人権教育

【政策】 第1項 人権の尊重と権利の擁護

施 策	(2) 平和施策の推進				
施 策 評 価	主 な 取 組		担 当 課	自 己 評 価	総 合 評 価
	平和意識の高揚		学校教育課	A	A
学 識 経 験 者 意 見 等	<p>「平和意識の高揚」につきましては、市内全中学校において「平和を願う講演会」が開催されたことが評価されます。現在、ロシアによるウクライナ侵攻がなされている最中であり、ロシアのウクライナ侵攻を単に政治的な出来事としてではなく、平和と倫理の観点から理解するように児童生徒を導くことが重要であると考えます。児童生徒に対して、平和意識と共に国際社会やグローバルな出来事への関心を醸成することが重要となります。彼らが世界の出来事について理解し、市民としての責任を果たせるような促しが必要であると考えます。</p>				